

ブナアオシャチホコ

夏にブナの葉を食べるイモムシ（幼虫）。最大長約45mm。体は緑色、背中に3本の縦縞がある。中央の縞は青または赤色、両側を黄色で縁取られる。この縞の両側の縞は黄色で細い。頭は青緑。

ブナ林でときどき多発するが、木を枯らすことはない。

【学名】 *Quadricalcarifera punctatella*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , シャチホコガ科 (Notodontidae)

【分布】 北海道南部, 本州, 四国, 九州。

【生態】

年1世代。蛹で越冬。6月頃に成虫が出現。雌成虫は葉裏に卵をまとめて産み付ける。幼虫は小さなときは集団で葉を食べる。成長すると分散する。8月下旬から9月上旬頃に地上に降りて落葉中に薄い繭を作って越冬する。

発育ステージ	～3月	4	5	6	7	8	9	10	11～
蛹	◇◇◇	◇◇◇	◇◇◇			◇◇◇	◇◇◇	◇◇◇	◇◇◇
成虫・卵			◇◇◇	◇◇◇	◇◇◇				
幼虫（摂食）				■	■	■	■		

【被害と防除】

ブナ林で時々多発する。多発は1～3年で終わり、それから5～6年後に再び多発する傾向があるといわれている。多発時には葉をすべて食べ尽くすこともある。しかし、木が枯れることはない。このため、防除は普通必要とされない。

【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病害虫獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真).

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ブナアオシャチホコ shachiho/bunaa/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/12/6.

